

そのまま？ たとえ？ 見分けプリント①

小学生・〇をぬって、意味を箱からえらぶ

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・たとえの意味で つかって いる ほうの 文(アか イ)の 右の 〇をぬろう。
- ・その 意味を、下の 意味の 箱(あ〜こ)から えらんで(使わない 意味も あります)、あ〜この きごうを 書こう。

れい ア ストーブで 手を やいて しまった。／イ 弟の いたずらに 手を やいた。
→ イの 〇をぬる たとえの意味=あつかいに こまる(きごうは 箱から さがして 書く)

- (1) ア キのうの しごとは 骨が折れた。 ☐
- イ ころんで うでの 骨が折れた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (2) ア あつい おゆに 水を さして、ぬるく した。 ☐
- イ もり上がって いた ところに 水を さした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (3) ア この 店は 台所用の 油を 売って いる。 ☐
- イ おつかいの 帰りに 油を 売って いた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (4) ア 兄が 一位に なって、鼻が 高い。 ☐
- イ あの 人形は、とても 鼻が 高い。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (5) ア 宿題を わすれた ことを 言われ、耳が いたい。 ☐
- イ 大きな 音を 聞きすぎて、耳が いたい。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (6) ア ごみを 川の 水に ながして しまった。 ☐
- イ キのうの けんかは 水に ながした。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (7) ア 自分の ことは たなに 上げて、人を 注意した。 ☐
- イ つかわない 本を、高い たなに 上げた。 ☐
- たとえの意味の きごう
- (8) ア 音楽に 合わせて、リズムよく 手を 打った。 ☐
- イ 台風が 来る 日に そなえて 手を 打った。 ☐
- たとえの意味の きごう

意味の箱(あ〜こ)

あ ほこらしく 思って 自まんに 感じる
う 自分の 失敗を 見ない ふりを する
お 前もって 対さくを 立てる
き はずかしくて 顔が 赤く なる
け すぎた いやな ことを なかった ことに する

い おどろいて 目を 大きく 見ひらく
え とても たいへんで 苦勞する
か 自分の 悪い ところを 言われて つらい
く うまく いって いる ことを じゃまする
こ しごとの とちゅうで おだ話を する



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント②

小学生・〇をぬって、意味を自分で書く

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・たとえの意味で つかっている ほうの 文(アか イ)の 右の 〇をぬろう。
- ・その 意味を、自分の ことばで 線の 上に 1行で 書こう。

れい ア ストーブで 手を やいて しまった。／イ 弟の いたずらに 手を やいた。
→ イの 〇をぬる たとえの意味=あつかいに こまる

- (1) ア まどから 顔を出して 外を見た。 ☐
- イ 友だちの たんじょう会に 顔を出した。 ☐

たとえの意味 _____

- (2) ア ねつが 出て、氷で 頭を 冷やした。 ☐
- イ おこって 歩いて 頭を 冷やした。 ☐

たとえの意味 _____

- (3) ア 兄の 失敗に 目を つぶった。 ☐
- イ まぶしくて 目を つぶった。 ☐

たとえの意味 _____

- (4) ア ボールが ^{むね}胸を 打って、いたかった。 ☐
- イ 先生の 言葉が 強く ^{むね}胸を 打った。 ☐

たとえの意味 _____

- (5) ア ようやく 司会が 板に ついて きた。 ☐
- イ ペンキが 板に ついて、手が よごれた。 ☐

たとえの意味 _____

- (6) ア 強い 上級生には 歯が 立たない。 ☐
- イ かたい せんべいに 歯が 立たない。 ☐

たとえの意味 _____

- (7) ア めがねを 鼻に かけて 本を 読んだ。 ☐
- イ テストの 点を 鼻に かけて いばった。 ☐

たとえの意味 _____

- (8) ア どろぼうが 足を ^{あら}洗って まじめに なった。 ☐
- イ 川で どろだらけの 足を ^{あら}洗った。 ☐

たとえの意味 _____



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント③

小学生・2つの 文の 意味を それぞれ 書く

なまえ _____

ひづけ _____

- ・ア・イの 2つの 文の 意味を、それぞれ 線の 上に 1行で 書こう。
- ・字の とおりの 文は 何が 起きたかを、たとえの 文は 慣用句の 意味を 書く。

れい ア ストーブで 手を やいた。→ 手に やけどを した イ 弟の いたずらに 手を やいた。→ あつかいに こまる

- (1) ア ナイフで うっかり 手を 切った。

アの 意味 _____

イ 悪い 友だちとは もう 手を 切る。

イの 意味 _____

- (2) ア 買いすぎて 予算より 足が 出た。

アの 意味 _____

イ ふとんが 小さくて 足が 出た。

イの 意味 _____

- (3) ア かがみの 前で 服の ^{えり}襟を 正した。

アの 意味 _____

イ 失敗を 反省して ^{えり}襟を 正した。

イの 意味 _____

- (4) ア ねこの ^{ひたい}額を そっと なでた。

アの 意味 _____

イ うちの 庭は ^{ねこ}猫の ^{ひたい}額 ほどしか ない。

イの 意味 _____

- (5) ア あの 二人は 水と 油の ようだ。

アの 意味 _____

イ 水と 油を びんに 入れて まぜた。

イの 意味 _____

- (6) ア 友だちの なやみに ^せ背を 向けては いけない。

アの 意味 _____

イ かべの ほうに ^せ背を 向けて すわって いる。

イの 意味 _____

- (7) ア なっとうが ねばって 糸を 引く。

アの 意味 _____

イ かげで 糸を 引く 人が いる。

イの 意味 _____

- (8) ア しかられて ^{あおな}青菜に 塩の ようだ。

アの 意味 _____

イ ^{あおな}青菜に 塩を ふって しばらく おく。

イの 意味 _____



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント④

小学生・3つの 文から ちがう 1つを 見つける

なまえ _____

ひづけ _____

- ・「そのまま」は 字の とおりの 意味、「たとえ」は 慣用句の 意味です。
- ・3つの 文の うち、ほかの 2つと つかい方が ちがう 文を 1つ えらんで、右の ○を ぬろう。
- ・ほかの 2つが「そのまま」か「たとえ」か、あてはまる ほうを ○で かこもう。

れい ア ストーブで 手を やいた。 イ 弟の いたずらに 手を やいた。 ウ 兄の わるさに 手を やいた。
→ ちがう 文は ア (○を ぬる)。ほかの 2つは たとえ (○で かこむ)。

- (1) ア 先生が テスト中 目を 光らせて いる。 ☐
- イ ねこが 暗やみで 目を 光らせた。 ☐
- ウ 町の 人が 悪人に 目を 光らせる。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (2) ア 朝飯前に 犬と さんぽした。 ☐
- イ 池の まわりを 朝飯前に 走った。 ☐
- ウ こんな 計算は 朝飯前だ。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (3) ア 悪い 点を とり 親の 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。 ☐
- イ ふざけて 友だちの 顔に ^{どろ}泥を ^ぬ塗った。 ☐
- ウ ^{どろ}あそびで 弟の 顔に ^ぬ泥を ^ぬ塗った。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (4) ア あの 人は 口が かたいから 安心だ。 ☐
- イ 口が かたい 兄に そうだんした。 ☐
- ウ びんの 口が かたくて あかない。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (5) ア プロの 選手と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 実力だ。 ☐
- イ 算数では 上級生と ^{かた}肩を ^{なら}並べる 力がある。 ☐
- ウ 放課後 友だちと ^{かた}肩を ^{なら}並べて 歩いた。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (6) ア 行進で 全員が ^{なら}足並みを そろえた。 ☐
- イ 意見を出し合って ^{なら}足並みを そろえた。 ☐
- ウ 兵隊が ^{なら}足並みを そろえて 行進した。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (7) ア ぬかるみに はまった 弟の 足を 引っ張った。 ☐
- イ ミスをして チームの 足を 引っ張った。 ☐
- ウ 自分勝手な 行動で 仲間の 足を 引っ張るな。 ☐
- ほかの 2つの 文は
- (8) ア ころんで 口を 切って 血が 出た。 ☐
- イ 話し合いで 先に 口を 切った。 ☐
- ウ ガラスで 口を 切った。 ☐
- ほかの 2つの 文は



そのまま？ たとえ？ 見分けプリント⑤

小学生・文章から たとえの 文を めき出す

なまえ _____

ひづけ _____

- ・下の 文章の 中に、同じ 言い方が 2回 出て きます。
- ・慣用句の 意味(たとえ)で つかって いる ほうの 文を さがそう。
- ・その 文を、そのまま 線の 上に 書き写そう(空きや 漢字の ちがいは 気にしない)。

れい ゆうとは ストープで 手を やいた。弟の いたずらにも 手を やいた。

→ たとえの 文 = 「弟の いたずらにも 手を やいた。」

- (1) ゆうきの 日記です。 百円の ぼきんでは 焼^やけ石に 水だった。 焼^やけ石に 水を かけると、湯気が 出た。

たとえの 文 _____

- (2) さくらの 日記です。 ころんで ひざを 強く 打った。 「なるほど」と 思わず ひざを 打った。

たとえの 文 _____

- (3) れんの 日記です。 せなかに 手を 回して かいた。 うらで 手を 回して 話を まとめた。

たとえの 文 _____

- (4) みおの 日記です。 お客の 足元を 見て 高く 売った。 足元を 見て ゆっくり 歩いた。

たとえの 文 _____

- (5) そらの 日記です。 ぶつけて 目の上の たんこぶを 冷やした。 あの 兄は ぼくの 目の上の たんこぶだった。

たとえの 文 _____

- (6) あおいの 日記です。 人の けんかに 首を つっこんだ。 ねこが 箱に 首を つっこんだ。

たとえの 文 _____

- (7) はるの 日記です。 この 千円は ぼくの 虎^{とら}の子だった。 動物園で 虎^{とら}の子が 生まれた。

たとえの 文 _____

- (8) かいの 日記です。 手品師が 手のひらを 返して 見せた。 勝つと、みんな 手のひらを 返した。

たとえの 文 _____

